

生命いきいき 文化都市 創造プラン

鶴岡市総合計画[普及版]



平成21年3月発行

発行●鶴岡市

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25

電話●0235-25-2111(代表)

<http://www.city.tsuruoka.lg.jp/>

E-mail●tsuruoka@city.tsuruoka.lg.jp



鶴岡市



【目次】

めざす都市像	2
「まちづくりの基本方針」と「計画実現のための原動力」	4
まちづくりの柱	6
それぞれの地域の特性を生かしたまちづくり	8
計画の推進	10

まちづくりQ&A

市民が助け合って、安心して暮らしていけるように、どのように取り組んでいきますか	12
市民の健康を守り、子どもたちの健やかな成長のために、どのように取り組んでいきますか	14
働く場の確保や元気なまちづくりのために、どのようなことに取り組んでいきますか	16
地域のいいものや強みを生かしていくために、どのように取り組んでいきますか	18
過疎化や市街地の空洞化に、どのように対応していきますか	20
環境問題や情報通信技術の高度な発達に、どのように対応していきますか	21

はじめに

このたび、新しい鶴岡市総合計画ができましたので、これを普及版にまとめ、皆様のお手元にお届けいたします。

新市が発足してから直ぐこの計画をつくることも考えましたが、旧市町村時代に、それぞれで行われていた制度や施策などの調整が必要だったので、その作業が終盤にきた平成19年5月、市の総合計画審議会に新計画の策定をお願いし、昨年の10月に「鶴岡市総合計画」としてご答申をいただいたのです。



こうして、新市として初めての「鶴岡市総合計画」ができたわけで、まずこの計画を纏めてくださった総合計画審議会の石黒会長様を始め委員の皆様には、心から厚く御礼を申し上げます。とくにこのところ、国の内外の社会・経済情勢は、大きく変わり続けており、計画の取りまとめには、これまでにはなかったたいへんご苦労があったものと思われ、それだけにご尽力くださった審議会の会長様ほか委員の皆様に、改めて深く敬意を表する次第であります。

市としましては、この計画で示している市勢の発展・振興と安心・安全な市民生活の維持・向上などを目指し、そのための詳細な実施計画を定め、皆様のご意見をもうかがいながら、明るく建設的な市政の運営に当たって参りますので、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。とくに、先にも申したように、このところの国内外に亘る激しい社会・経済事情の変動に対しては、市としましても、これまで以上に真剣に社会・経済の実情の把握に努め、改善を要する問題については適切に即応して行く考えでありますので、皆様におかれても、考慮・改善すべきことなどについて、ご指摘、ご助言をくださいますようお願いいたします。

鶴岡市域の一層の充実・振興と、より安心・安全な市民生活の実現を目指して努力を尽すことを申し上げ、ご挨拶といたします。

平成21年3月

鶴岡市長 富塚 陽一





古くから経済、文化、生活など様々な面で密接なつながりのあった1市4町1村が平成17年10月1日に合併して、新しい鶴岡市が誕生しました。

市では、新しいまちづくりの方向を定めるため、平成21年度から30年度までの10年間の鶴岡市総合計画を策定しました。

時代が変化するなかでも、合併によって可能性が広がった鶴岡市の多様な資源や特性を適切に守り、そして生かしながら、市民の皆さんと希望に満ちた明るい将来への展望を共有し、協力してまちづくりを進めていきます。

めざす都市像

人 暮らし 自然 みんないきいき
心やすらぐ文化をつむぐ悠久のまち 鶴岡

市民の一人ひとりが健康で安心して暮らしていくことで 「人」がいきいき

文化や産業・経済活動が活発に展開されていくことで 「暮らし」がいきいき

受け継がれてきた豊かな自然環境を守り生かしていくことで 「自然」がいきいき



いきいきとした「人」「暮らし」「自然」のもと、
心がやすらぎ、鶴岡ならではの文化を守り育て、
将来とも活力と希望に満ちたまちになっていくことをめざします

まちづくりの基本方針

計画実現のための原動力

まちづくりの柱

健康福祉都市の形成

学術産業都市の構築

森林文化都市の創造

学習社会の構築
市民の総合力の発揮
地域資源の価値化
交流の拡大

それぞれの地域の生活環境をより安全で安心なものにするために、一人ひとりの心がつながりあう確かな地域コミュニティを構築します

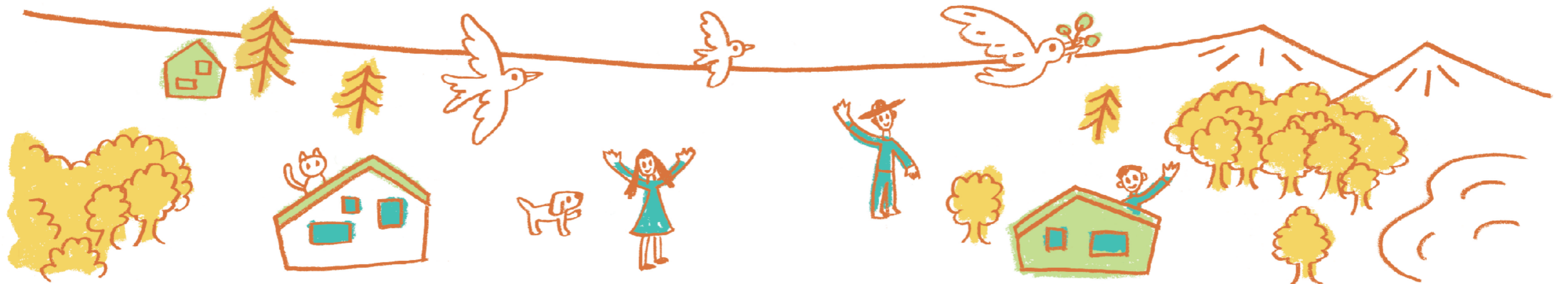
一人ひとりがいきいきと健やかに暮らすことができる健康福祉社会を形成します

未来を担う子どもたちが、よりよい環境のもとでいきいきと育ち、それぞれの世代がともに学びあえる地域社会を創ります

恵まれた豊かな自然と風土を生かし、人と人の交流を回りながら、産地の「顔」づくりと安全で安心な食料づくりを進め、農林水産業をいきいきと発展させます

地域に根ざす産業を守り育てるとともに、これからの時代をひらく新しい産業を振興し、それぞれの地域をいっそう元気にします

地域の生活や活動を支える基盤を整えるとともに、交通・情報ネットワークをさらに充実させて市域内外の交流を拡大します



基本方針

**学びを通して、いのちの大切さを理解し、
健やかに安心して暮らせる『健康福祉都市』を形成します**

地域に根ざしたくらしや思いやりの心、教学の伝統などが色濃く残る鶴岡市。自主的な健康づくり運動や心のこもった福祉活動、また生涯を通じた学習活動やスポーツ活動が活発に行われています。

一方、人々の生活様式の変化や価値観の多様化、少子高齢化や人口減少などによって、生活課題は複雑になり、同時に人と人との結びつきが弱まりつつあるとも言われ、くらしや地域のありようを見つめ直す必要があります。

そこで…

- 一人ひとりがいのちの尊さを知り、それを大切にすることを育み、心身の健康を保ちながら地域で暮らしていく
- すべての人々が積極的に健康づくりや福祉のまちづくりに参加し、安全・安心な地域づくりに努める

**健康福祉都市
を形成**

- 学びを通して高めあいます
- 市民一人ひとりが発揮する力を結集します

「めざす都市像」の実現に向けて、重視する

計画実現のための 原動力

- 地域独特の資源を見出し価値あるものにして生かします
- 内外の交流を活発に行います

基本方針

山野河海に抱かれた四季の恵み豊かな自然環境のもとで、人と自然とのよりよい関係を探求する『森林文化都市』を創造します

出羽三山、朝日連峰など広大な山岳・丘陵地帯が続き、豊かな森林を有する鶴岡市。この広大な森林は、美しい景観はもちろん、優れた木材や豊かな水資源、さらには実り豊かな農業や多様な文化を育むなど、多くの恵みをもたらしています。

しかし、経済発展とともに生活の利便性や効率性を優先してきた結果、人々と森林・自然との関わり合いが薄れ、自然の大切さも頭の中でのみ考えたものになっているようです。一方、地球温暖化の防止や資源・エネルギーの循環型社会への転換といった観点から、森林の役割が改めて注目されはじめています。

そこで…

- 市域の7割を占め、くらし、環境、文化を育んできた森林を地域の資源として保存し、活用する
- 新しい時代に望まれる文化の心や環境意識、特に子どもたちの優しい感性を養うため、人と森林・自然との関わりを深める

**森林文化都市
を創造**



基本方針

**歴史と伝統ある文化を守り発展させるとともに、
既存産業から先端技術を駆使した未来型の産業まで
力強く振興する『学術産業都市』を構築します**

城下町の歴史を背景に、向学の気風と文化の薫り高いまちの雰囲気創られ、豊かな自然のもとに多様で貴重な伝統文化や生活文化が培われてきた鶴岡市。これは、全国的にくらしが均質化し、まちの個性が失われていくなかで、誇るべき個性・特性です。

また、地域社会を形成し、地域経済を発展させてきた農林水産業や商工業も先人の知恵と工夫の積み重ねのもと、今に受け継がれています。さらに、鶴岡市は学術研究と教育を重視して発展してきました。知識社会といわれる今日、学術と産業は将来の発展に向けた大事な基盤です。

そこで…

- 本物の価値のある伝統・文化資源を守り、次世代に受け継ぐ
- 地域の農・商・工の産業を力強く発展させ、いきいき働く場を確保する
- 教育研究を充実させ、地域の発展に向けた力を高め、若者の交流定着を促進する

**学術産業都市
を構築**





まちづくりの柱

めざす都市像の実現のために、それぞれの分野において、次のことをまちづくりの柱として取り組みます。

それぞれの地域の生活環境をより安全で安心なものにするために一人ひとりの心がつながりあう確かな地域コミュニティを構築します

- そのために…
- 互いに顔が見え、支えあう地域コミュニティを築きます
 - 助けあいと備えが生きる防災力の高い地域にします
 - 地域と地球の環境を守る一人ひとりの実践を進めます

一人ひとりがいきいきと健やかに暮らすことができる健康福祉社会を形成します

- そのために…
- 目くばりと自らの健康づくりで心と体の健康を増進します
 - 見守りと助けあいの温かい福祉のまちづくりを進めます
 - 高齢者がいきいきと暮らす地域を実現します
 - 家庭・職場・地域で子育てを支えます
 - 充実した医療サービスを提供します

未来を担う子どもたちが、よりよい環境のもとでいきいきと育ち、それぞれの世代がともに学びあえる地域社会を創ります

- そのために…
- 学校・家庭・地域が協力して明るく元気な子どもを育成します
 - 高度な教育研究を活発にしてまちづくりに生かします
 - 生涯にわたる楽しい学びとくらしのなかでの実践を進めます
 - 歴史と伝統ある文化資源を継承し、地域づくりに生かします
 - 活発な芸術活動やスポーツによる人づくりを進めます
 - 交流によって友好の輪を広げ、多様な文化への理解を深めます

恵まれた豊かな自然と風土を生かし、人と人の交流を図りながら、産地の「顔」づくりと安全で安心な食料づくりを進め、農林水産業をいきいきと発展させます

- そのために…
- 地域特性を生かし、意欲が高まる農業を振興します
 - 林業の振興と市民の参加・交流で、豊かな森林を守ります
 - 漁業を支え、庄内浜の豊かな水産資源を確保します
 - 助けあいと交流による元気なむらづくりを進めます
 - 地産地消やブランド化を進め、鶴岡の風土や農林水産物の魅力を発信します

地域に根ざす産業を守り育てるとともに、これからの時代をひらく新しい産業を振興し、それぞれの地域をいっそう元気にします

- そのために…
- 地域の強みを生かした地力ある産業を振興します
 - 人が集う楽しい商店街づくりを進め、にぎわいのあるまちをつくります
 - 新しいビジネスチャンスが生まれ、起業しやすい環境をつくります
 - 働く意欲と力を持ち、地域の産業を支える人材を育成します
 - 鶴岡ならではの観光ともてなしのまちづくりを進めます

地域の生活や活動を支える基盤を整えるとともに、交通・情報ネットワークをさらに充実させて市域内外の交流を拡大します

- そのために…
- 資源を有効活用した美しく快適な都市空間を形成します
 - 人や産業の交流・連携を支えるネットワークを築きます
 - 安全で安心な生活基盤を整えます





それぞれの地域の特性を生かしたまちづくり



市町村合併によって広大な市域を有する鶴岡市は、多彩な魅力にあふれ、さらなる発展の可能性に富んでいます。これからも、合併の効果を最大限に発揮し、それぞれの地域の特性を生かした個性豊かな地域づくりを進め、市全体で様々な交流を活発にします。

鶴岡地域

- 多様な自然環境と担い手の努力のもとに培われた良質で多彩な作物と農山漁村の文化特性を生かし、農林水産業の維持・振興に努めます。
- 中心市街地の内川の西側では、城下町の歴史文化や景観を保全継承し、学術研究活動や芸術文化活動の拠点としてそれらの振興を図ります。また、内川の東側では、新しいビジネスを創出しながら自由闊達でにぎわいに満ちた街づくりを進めます。
- これからも庄内地域の中核的な役割を担い、市全体の発展をリードしていきます。



櫛引地域

- 庄内地域有数の果樹産地としての特性を生かし、米と果物など複数の作物を組み合わせた複合農業の振興を図り、農産加工や観光果樹園・農業体験などを組み合わせたグリーン・ツーリズムを推進し、農商工連携による六次産業の展開を図ります。
- 五百年余の歴史を刻む黒川能など伝統芸能の保存伝承に対する機運を高め、継承の仕組みを確立し、貴重な歴史文化資源を後世に伝えるため、地域で伝統文化にふれ親しむ場を提供するなど、地域に根ざした文化活動を進めます。



藤島地域

- 有機農業など農業を核とした「人と環境にやさしいまちづくり」エコタウンプロジェクトを進めます。
- 農村の営みに育まれた田園や屋敷林に守られた集落の景観、「獅子踊り」など伝統文化を保全し、次世代に継承します。また、庄内農業の中核的地域として、農業資源の情報を市内外に発信し、農業への関心や地域への誇り・愛着を育み、農産物のイメージアップや交流の拡大を進めます。



朝日地域

- 森林の恵みにこだわった農林産物の生産と加工、それらのブランド化を進め、豊富な雪、水源、木材など風土を生かした新エネルギーの開発を試みるなど、地場産業の拡大と農林業の持続的な振興によって山郷のくらしの安定を図ります。
- 美しく壮大なスケールの自然を活用し、子どもたちの自然学習・自然体験をはじめ、心身の健康や癒しの場、山岳信仰にまつわる歴史・文化遺産の学習機会など、多彩な自然学習・体験プログラムの開発と提供を進めます。



羽黒地域

- 出羽三山の信仰文化・歴史遺産、門前の街並みや松ヶ岡開墾場など優れた資源を未来に継承し、国内外から訪れる人たちに国際的にも文化的価値が高い空間を提供できる地域をめざします。
- 月山のふもとから広がる田畑や牧場、庄内柿の果樹園など特色ある豊かな中山間地域の資源を活用し、都市と農村の交流活動を進め、地域の活性化に取り組みます。



温海地域

- 開湯一千年を誇る温海温泉、マリナーなどの海洋レジャー施設、温海かぶ、しな織、庄内あつみ杉などの特産品、さらには能や歌舞伎などの民俗芸能といった、沿岸部・山間部それぞれの地域資源に光をあて、これらの魅力を高め、交流を盛んにして、地域全体の振興を図ります。
- 鼠ヶ関港を中心に若い漁業者のエネルギーを生かし、地場産の海産物の消費拡大や東北日本海沿岸の豊かな水産資源としてブランド化を図るなど、水産業の振興を核とした活気のある地域づくりを進めます。





計画の推進

市民と行政が相互の信頼を深め、まちづくりの基本的な方向性を共有し、連携・協調していく関係を築きます

- 外部からの指導や助言を取り入れ、情報の提供や意見交換の機会などを積極的に設けて施策に生かします。
- 市民どうしや地域の互助活動を促進し、地域の課題に対する市民の自らの取り組みがさらに活発になるように努めます。
- ボランティア組織やNPO等の様々な団体が活発に活動していけるよう支援します。
- 市民と行政との協働関係の強化・充実を促進するため、情報の共有などの環境をつくります。

地方分権の進展などに対応し、実態やニーズにあった住民サービスを提供することができるように、行政機能を強化します

- 国や県からの権限委譲について、市行政として適正と認められるものを受け入れ、地域の実態や必要性に応じて活用していきます。
- 施策や事業の有効性を点検し、業務の見直しを進め、より簡素で効率的な行財政運営に努めます。
- 様々な分野にわたる新しい課題に対応できる柔軟な組織体制を構築し、実践的な研修を通じて職員の政策立案能力の向上を図ります。
- 行政情報を適正かつ積極的に市民へ提供し、情報通信の活用による事務の効率化や情報サービスの向上を図るなど、情報の共有、利便性の向上を図ります。
- 財政構造を長期的に見すえ、より健全な財政運営を行い、資産の有効活用やコスト削減への意識をさらに高めます。



この計画を進めるために大事なこととして、次のことに取り組みます。

市民が参画して計画の進行状況や成果を点検する仕組みを整え、その時々課題をとらえ、効果的に施策を進めます

- 各分野の市民の代表によって構成される総合計画審議会に対し、引き続き総合計画による施策の進捗状況や成果を報告し、市政の重要課題について意見を聴きます。
- 総合計画に基づいて実施する施策について、その時々に変化する社会経済情勢を踏まえ、実行した施策の達成度合いなど成果の点検評価を行いながら、毎年向こう三年間の実施計画を策定し、進めていきます。
- 若い世代をはじめ多くの市民に計画の周知を図り、まちづくりなど様々な課題について意見を聴きながら、施策に反映するよう努めます。



支えあいと安全・安心

Q. これから、人口の減少や少子高齢化が進むと聞きます。また、近所づきあいも昔より少なくなっています。災害や何か困ったことがあったときに心配です。市民が助け合って、安心して暮らしていけるように、どのように取り組んでいきますか。

A1. 地域コミュニティを再構築します

- ①子どもから高齢者まで各世代にわたり**地域の様々な活動への参加**を促します。
- ②住民一人ひとりが**役割を担い**、協力して防災や子ども・高齢者の見守り活動、環境美化活動などに取り組めるように支援します。
- ③防災、防犯、福祉、教育、スポーツなど様々な分野で地域の状況に応じ、**各種団体やNPOなどが専門的機能を発揮**できるようにし、**町内会・自治会などとの連携**を進めます。
- ④地域活動にボランティアを生かす仕組みづくりと人材の養成、経験豊富な高齢者や団塊の世代の協力によって**地域活動の担い手**を確保します。

A2. 男女共同参画など市民の持てる能力を発揮します

- ①高等教育機関を活用した市民の学習機会、職業能力の研修や訓練、趣味や教養に関する生涯学習の講座など充実した**幅広い学びの環境**を整えます。
- ②男女の別に関わりなく、互いに助け合い、力を合わせることへの家庭・地域・職場の理解を高め、仕事と子育ての両立の支援や地域活動への女性の積極的な参加を促し、**女性の力が発揮**される地域をめざします。
- ③高齢者や団塊の世代のもつ**経験や知識・技能**を地域活動や職場などで生かし、若い世代に伝えることを促します。
- ④若者も消防団や伝統芸能など地域の大切な役割を担い、祭りやイベントへ積極的に参画し、またスポーツや芸術に親しむ環境を整えるなど、**若い世代が地域で活躍**できる機会をつくります。
- ⑤心身に障害のある人への市民の理解を深め、*バリアフリー対策の推進や就労の場の確保、創作的活動や機能訓練など日中活動サービスの充実によって、**心身に障害のある人の社会参加**を進めます。

(*段差や仕切りをなくすなど高齢者や障害者に配慮すること)

A3. 災害から暮らしを守ります

- ①治水や治山対策のほか、学校をはじめ公共施設や道路・橋の**耐震化**を進め、民家の耐震改修を促し、災害に備えます。
- ②災害時に**住民が互いに助け合う関係**を築き、住民の自主防災活動や日ごろの訓練、消防団への参加を促し、地域の防災力を高めます。
- ③災害時の情報伝達手段の整備、避難場所など防災拠点の充実を図り、高齢者や障害のある人をはじめ**住民の生活に合わせて適確に避難・救助**できる体制を築きます。
- ④災害時の医療体制を整え、水道・電力・ガスや通信手段の確保及び復旧、救援物資の調達における民間事業所や**関係機関、近隣自治体などとの協力体制**を築きます。
- ⑤広大な市域のなかで**迅速な防災対応**ができるように消防機能を強化し、避難や復旧支援に対応できる道路ネットワークを整えます。

A4. 安心して暮らせる福祉のまちをめざします

- ①様々な生活課題を抱えた人の相談に応じ、家族や地域住民、公的なサービスや民間サービスなどを調整しながら問題解決にあたる**地域福祉活動**(コミュニティソーシャルワーク)を進めます。
- ②障害のある人の成長段階に応じて、医療、福祉、教育、雇用など関係機関の連絡調整の仕組みを強化し、幼児期から高齢期まで**一貫した支援**が行き届くようにします。
- ③在宅での介護サービスや介護する家族のための相談体制を充実させ、また認知症サポーターを養成するなど、介護を必要とする人を**地域で見守る体制**を強化します。
- ④子どもの発達障害を**早期に見出し**、相談や適切な支援を行う体制を充実させます。
- ⑤救急医療の診療機能を充実させ、消防と医療機関との連絡体制の強化や救急処置の知識を市民に周知し、**迅速で適切な救急医療**を提供できる環境を整えます。



健康づくりと元気な子どもの育成

Q. 子どもからお年寄りまで、健康に暮らしていくことが何より大切だと思います。特に、子どもたちは地域の宝です。市民の健康を守り、子どもたちの健やかな成長のために、どのように取り組んでいきますか。

A1. 市民の健康な暮らしをつくります

- ① 各種健診と保健指導を充実させ、病気の早期発見と早期治療を促し、市民一人ひとりが自ら行う健康づくり活動の支援や介護予防対策を進めます。
- ② プライバシーの保護に配慮しながら、ICT(情報通信技術)を活用した関係機関の情報共有によって、より効果的な保健・医療・福祉対策を進めます。
- ③ がん検診の受診率向上やがん患者などに対する緩和ケア・相談機能の充実を図り、がん研究を行っている先端生命科学研究所と地域の医療機関などとの連携を促します。
- ④ ところの健康相談の体制整備やカウンセラーなどの人材確保によってところの病を予防し、早期発見・早期対応によるところの健康づくりを進めます。
- ⑤ 総合保健福祉センターを整備し、健康・福祉の専門スタッフが連携し、質の高いサービスを総合的に提供します。

A2. 安心して子育てができる環境を整えます

- ① 妊婦健診・乳幼児健診の受診を促し、すべての産婦・乳児への訪問を行い、育児不安を解消し、子どもの発達における相談支援を充実させます。
- ② 身近な地域で子育てグループ活動へ参加できる環境を整え、子どもの健全な発達につながる保護者のかかわり方のアドバイスや情報提供によって、保護者の育児力の向上を図ります。
- ③ 保育所を適正に配置し、保育内容を充実させ、職場・家庭・地域の協力による子育て期の多様な働き方の実現など、子育てしながら働きやすい環境を整えます。

A3. 明るく元気なよい子を育成します

- ① 学校や地域で自然に親しみながら学び体験する機会や、他の地域の子どもの交流などを通じ、子どもたちのたくましさや自然や生命を尊ぶ心を育成します。
- ② 優れた伝統を生かした芸術文化活動や活発なスポーツ活動を通じ、子どもたちの豊かなところと生きる力を育てます。
- ③ 学校教育のなかで致道館教育の理念を継承し、学習への高い関心と意欲をもとにした学力向上、また「ふるさと」を愛する心と規範意識や思いやりの心の育成、さらには体力増進や基本的な生活習慣の確立などをめざした指導を進めます。
- ④ 児童数の減少が進むなかで、学校の規模による教育効果の調査・研究をもとに、子どもたちにとって望ましい学校の規模や配置などについて総合的な検討を行い、適正な教育環境を整えます。
- ⑤ 学校給食で地産地消のメニューを取り入れ、食を通じて郷土の自然や食文化、産業への理解を深める教育を行います。
- ⑥ 友好都市との交流や海外の人々との交流活動を支援し、子どもたちの異なる文化への興味や理解を深め、将来の国際化を担う人材を育成します。



産業の振興と交流の拡大による地域の発展

Q. 地域の発展には、若い人たちの地元への定着が必要だと思いますが、働く場の確保や元気なまちづくりのために、どのようなことに取り組んでいきますか。

A1. 産業を振興し働く場を確保します

- ① 新たな**企業の誘致**に努め、また地域に根ざした企業の**事業拡張や競争力を強化**する環境を整えます。
- ② 高等教育研究機関が持つ研究成果や新技術の産学・企業間連携に基づく事業化を進め、特に医薬、食品、環境などバイオに関する**研究機関や企業が多く集まる環境**を整えます。
- ③ 絹織物、羽越しな布をはじめとする伝統的な産業の新しいニーズに合わせた事業展開や、また農産物、伝統文化など**地域資源を活用**した事業活動の活性化を促します。
- ④ 市民生活や企業活動をサポートするサービスなど**新しい産業やビジネス**の展開を促し、若者や女性、高齢者などが新たに創業しやすい環境を整えます。
- ⑤ 中心商店街のそれぞれの店舗の**個性や特性を生かした店づくり**を促し、意欲ある商業者が出店しやすい環境づくりを進めます。
- ⑥ 「食」「文化」「健康」など地域資源を活用した**本市特有**のテーマ観光を開発し、温泉地や宿坊街の魅力の向上を図り、駅や空港から観光地までの交通手段や観光案内の充実など観光客の受け入れ環境を整えます。

A2. 優れた特性を生かした地域の発展の基礎となる農業を振興します

- ① 農家の知恵と工夫で伝えられてきた**在来作物に地域文化としての価値**を加えながら、**若い農業者の探究心**を高め、積極的な生産・加工・販売を促すほか、在来作物の個性を内外に発信し、地域づくりに活用します。
- ② 環境の保全に配慮しながら、高品質でおいしい米づくりをはじめ、消費者や市場のニーズに応じた**安全・安心で良質な農産物**づくりを進めます。
- ③ **積極的な農業経営**に取り組むことができるように、認定農業者や集落営農組織など担い手の育成を図り、生産品目の拡大など前向きな取り組みを促し、優良農地の確保や機械・施設の効率的利用を進めます。
- ④ 野菜、果物、花やきのこなどの生産技術の向上と地域の特性を生かした産地づくりを進め、庄内米、だだちゃ豆などに続くブランド力のある農産物の発掘・育成や新たな特産物の開発によって、「**鶴岡ブランド**」の確立をめざします。
- ⑤ 産地直売や農産加工など意欲的な取り組みを促し、一般消費者だけでなく飲食店をはじめ事業者にも広がる**地産地消**を進めます。
- ⑥ 試験研究機関や企業と連携し、**地元農産物**のおいしさや健康への効果などに着目した**食品開発**を進めます。
- ⑦ 都市と農山漁村との交流を通じて本市の農林水産業の「応援団づくり」を進め、豊かな自然環境を生かした子どもたちの学びの場や*グリーン・ツーリズムなど体験観光の場として、**交流による農山漁村地域の活性化**を図ります。

(※農林業の体験やその地域の自然・文化にふれ、地元の人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動)



A3. 市内外の交流を活発にします

- ① 高等教育機関相互の交流や連携を促し、高度な教育研究活動をもとに**若者の知的な交流**を活発にします。
- ② 国際的イベント・会議などの誘致に積極的に取り組むなど、経済活動や学術、文化、スポーツなどでの**多様な人々の往来**を積極的に促します。
- ③ 地域固有の資源を活用した**鶴岡ならではのテーマ観光**や特徴ある体験観光を開発し、**観光客の増加**をめざします。
- ④ 自然や農山漁村のくらし、特に森林を活用した保養や健康づくり、子どもの育成といった観点からの交流プログラムの開発と展開によって、**農山漁村地域と市内外の人々との交流**を進めます。
- ⑤ 都市交流盟約を締結している各都市との交流、首都圏など他地域に在住する地元ゆかりの人を通じて築いた人の**ネットワーク**を介して、地域の魅力を発信し、人と情報の交流を拡大します。
- ⑥ 高速道路の整備充実、庄内空港発着便の利便性の向上、羽越本線の高速化など、**高速交通網や国・県・市道の整備によるネットワーク化**、情報通信の利用環境の充実など、交流の基盤を整えます。



「優れた特性・資源の継承と活用」

Q. 鶴岡市は自然や文化、歴史と伝統などいいものがたくさんある個性的なまちだと思いますが、地域のいいものや強みを生かしていくために、どのように取り組んでいきますか。

A1. 誇るべき文化を継承します

- ① 伝統芸能の**担い手の育成**などを支援し、歴史を象徴する貴重な建造物を所有者などの協力を受けながら保存・活用を図ります。
- ② 地域で継承されてきた歴史資料や生活文化、文学に関する**様々な資料の調査・研究**体制を築き、拠点となる資料館の機能充実や文学館の整備を進めます。
- ③ **出羽三山**の自然や歴史・文化について、総合的に学習し研究を進める体制を整え、世界遺産への取り組みを進めます。
- ④ 子どもたちが学校や地域のなかで、**郷土の自然や歴史、文化、産業などを学ぶ**機会の充実を図ります。
- ⑤ **市民の芸術文化活動**を発表する芸術祭や文化祭、市民や団体による自主的な事業を支援し、公共施設や民間施設を活用した練習・発表の場の充実を図ります。

A2. 森林文化都市をめざします

- ① **朝日地域の大鳥地区**での**子ども自然体験交流**など自然を生かした遊びや学び、森林体験や農業体験を通じて子どもたちが森林や自然とふれあう機会を積極的に設けます。また市民が森林散策やウォーキング・里山あるきなど地域の自然や文化にふれ、レジャーや健康づくりに生かす機会を充実させます。
- ② 高館山自然休養林や*ラムサール条約登録地である大山上池・下池周辺の豊かな自然環境を活用して、子どもたちが楽しく自然科学を学ぶことができる**庄内自然博物館の整備**など、森林環境を生かした活動の拠点を整えます。
- ③ 地元産材の消費拡大、間伐材の森林バイオマスや魚礁への有効活用など循環型社会をめざし、**森林資源の利活用**を進めます。
- ④ 作業道の整備など森林施業を行いやすい環境の整備をはじめ、市民や企業の参加による森づくり活動、ナラ枯れなどの病害虫防除対策などによって、**森林を適切に保全・管理**します。
- ⑤ 地域の自然・歴史・文化などの学習や調査・研究、伝統芸能の担い手の育成支援などを通じて、農山村の暮らしに育まれた**価値ある里山文化・伝統文化を継承**します。

(※1971年にイランのラムサールで採択された条約により定められた基準に沿って「国際的に重要な湿地」として登録された場所のこと)



A3. 高度な教育研究を地域づくりに生かします

- ① 山形大学農学部、鶴岡工業高等専門学校、慶應義塾大学先端生命科学研究所及び東北公益文科大学大学院の**活動を積極的に支援し、教育研究機能の一層の充実**を図り、相互の交流や連携を促します。
- ② 高等教育機関や試験研究機関の**優れた技術や研究成果**などを、新しい企業の創出、農林水産業や商工業の高度な展開に活用します。
- ③ 生命科学(バイオ)に関する恵まれた地域特性を生かし、高度な教育研究機能の拡充を図り、また医薬、食品、環境などバイオ関連の研究機関や企業の受け皿となる鶴岡バイオサイエンスパークを整備し、**生命科学のメッカ**となることをめざします。
- ④ 間伐材や食品廃棄物による*バイオマスエネルギーの研究・開発など環境保全や、がん研究における先端生命科学研究所と地域の医療機関との連携など**難病の克服**まで、**幅広く社会に貢献**する高度な教育研究を展開します。
- ⑤ 高等教育機関を活用した多様な市民の学習機会を充実させ、地域内外との学術交流や共同研究などを通じて**優秀な人材の定着や交流の拡大**を図ります。
- ⑥ 海洋科学に関する恵まれた環境を生かし、水産・海洋に関する教育機関や研究施設などの連携・協力を促し、海洋生物に親しむことができる貴重な学習施設である**加茂水族館を改築整備**します。

(※生物由来のエネルギーのこと。間伐材など未利用の木材や家畜排泄物、廃食用油など食品廃棄物などの燃料への活用が進められている)



“まちなか”も“むらざと”も元気な地域づくり

Q. 今後、人口が減っていくと、過疎化や市街地の空洞化が進むことが心配ですが、これらにどのように対応していきますか。

A1. 過疎対策を進めます

- ① 集落営農組織などの担い手の確保、そばや山菜、きのこ類をはじめ地域に適した特産物の生産の拡大、有害鳥獣による被害防止などによって、**中山間地域に適した農業を振興**します。
- ② 優れた景観の保全と、安全で快適な暮らしを備えた中山間集落の環境整備を進め、田畑や農業用水などの管理や日常生活における**地域住民の支えあいの関係**を築きます。
- ③ 農山漁村の自然環境を生かした余暇活動や健康づくり、学びや子どもの育成など多様な交流プログラムの展開や、民俗芸能、伝統行事、食文化などの地域の特性を情報発信し、**交流を拡大**する取り組みを進めます。
- ④ 災害など緊急時における孤立を防ぎ、生活の利便を図るため、**除雪や災害復旧の体制**を確立し、公共交通の確保や**道路・交通・情報ネットワークの整備**を進めます。
- ⑤ 市街地から遠い地域でも**安心して暮らせるように**、消防・救急体制の充実や訪問診療及び訪問看護、また在宅で医療を受けながら生活できるサポート体制の充実を図ります。

A2. にぎわいある中心市街地をつくります

- ① 環境や景観に配慮しながら、中心市街地に住み、暮らし、活動するための**都市機能を集め**、市街地の土地の有効利用によって、***コンパクトな市街地**を形成します。
- ② 中心商店街に伝統産業や食文化など地域資源を生かした店舗や、職人の技や地場産品に触れられる工房型店舗の展開を促すなど、市民の活動・交流の場としての機能も備えた**文化性豊かな商店街づくり**を進めます。
- ③ 高齢者も生活しやすい「**歩いて暮らせるまち**」をめざし、歩行者交通に配慮した道路整備を進め、高齢者も安心して暮らせるコミュニティ形成など中心市街地の環境整備を進めます。
- ④ 鶴岡公園周辺の歴史、学術、芸術文化の拠点としての機能を生かし、中心市街地における**市民の多様な交流の場**として活用します。また、城下町の歴史や文化的特性を踏まえた観光エリアとしての整備を進めます。
- ⑤ 文化都心である中心市街地に現代的な機能を備えた**文化会館を改築整備**し、国内外の優れた芸術の鑑賞機会の充実を図ります。
- ⑥ 鶴岡駅前地区の立地環境を生かし、**企業間の交流や産学連携**などの活動を支援する機能の充実を図ります。

(※市街地の無秩序な拡大を抑制するとともに、既成市街地や既存集落の土地の有効利用に留意した市街地)

地球レベルでの課題への対応

Q. 環境問題や情報通信技術の高度な発達といった社会全体が直面している課題に、どのように対応していきますか。

A1. 私たちの環境を一人ひとりの実践で守ります

- ① 学校での環境問題に関する学習をはじめ、普及啓発イベント、環境体験教室や環境講座の実施など**市民一人ひとりの実践に向けた環境教育**を進めます。
- ② 市の施設をはじめ、**温室効果ガスの削減**に向けた具体的な取り組みを目標値を定めて計画的に実践します。
- ③ 市民の暮らしにおける**省資源・省エネルギー**の具体的な行動を促し、事業所などの**リサイクル活動や廃棄物の減量化目標**の設定とその実行管理を進めます。
- ④ **市民や団体が取り組む**地域の環境美化や資源回収の**活動を支援**し、各活動どうしの情報共有のためのネットワークを整えます。
- ⑤ 地域の研究機関などによるバイオマスエネルギーや廃棄物の処理技術などの**研究・開発**を進めます。
- ⑥ 化学肥料や農薬の使用を控え、^{たいひ}堆肥をもとにした**安全・安心な農産物の生産拡大**を図り、省エネルギー効果の高い設備や資材、栽培方法を取り入れるなど**環境保全型農業**を進めます。
- ⑦ 市民と行政が協力し、**自然環境の維持保全**に努め、外来生物による生態系への被害防止など地域の貴重な動植物の保護や調査活動を進めます。

A2. 高度な情報化社会へ対応します

- ① 保健・医療・福祉における関係機関の情報共有によるサービス向上や、救急・防災に関する情報伝達システムの整備など、産・学・官・民が連携して市民の安全・安心な暮らしの実現や生活の利便性向上につながる**ICT(情報通信技術)の高度な活用**を進めます。
- ② 本市の強みである自然や文化、農産物、観光資源の情報をインターネットや携帯電話サイトなど新しいメディアを活用しながら、「**鶴岡ブランド**」として**市内外に発信**し、観光客誘致や販路の拡大につなげます。
- ③ 地域や世代によらずICTの恩恵を受けられる環境をめざし、***ブロードバンドサービス、地上デジタル放送、携帯電話などの利用環境の充実**を図ります。
- ④ 児童・生徒へインターネットや携帯電話などの**適切な活用**について指導を行い、また情報通信機器などを悪用した高齢者をねらった犯罪被害を防止するため、**適切な防犯対策**の情報提供に努めます。

(※光ファイバーなどの高速な通信回線を用いたコンピュータネットワーク上で提供される大容量のデータを活用したサービス)

